

京都ビッグデータ活用プラットフォーム 会員募集資料（1108改訂版）



超快適スマート京都を目指して



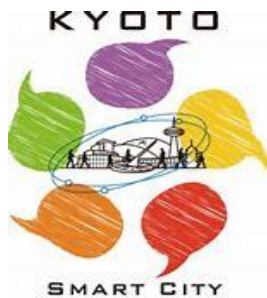
（一社）京都スマートシティ推進協議会
Webサイト

一般社団法人京都スマートシティ推進協議会
（京都府文化学術研究都市推進課）

京都を、スマートシティ実践・実用化の「先進地」に

京都スマートシティ推進協議会

I C T等の最新技術を用いて、都市地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させるとともに、持続的に発展する新たな社会システムとイノベーションを創出し、**人が主役のスマートで安寧な社会の創出**を目指す。



京都の環境をスマートに
京都のつながりをスマートに
京都の産業をスマートに

VISION



スマートシティ実現を目指す京都府、企業、大学・研究機関、府民をつなぐ
産学公民のオープンイノベーションプラットフォームになること

京都ビッグデータ活用プラットフォームの概要

人が主役のスマートで安寧な社会の創出



京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議

高度な技術や専門的知識を有する大学や研究機関、企業、観光連盟、DMO、行政等の多様なプレーヤーが参画する官民プラットフォームである京都ビッグデータ活用プラットフォームを構築し、オープン/クローズデータを収集・活用することで、ベンチャー企業等の新たなサービスやアライアンス創出の場を提供し、産業活性化を図る。

➤ 平成30年度は計3回の「京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議」を開催し、データ利活用分野の有識者によるセミナーやパネルセッション等を実施。

第1回

平成30年11月9日（金）



民間企業：55企業100名
大学等：2大学8名
行政・研究機関：7団体9名
事務局：13名
合 計：64団体 130名

第2回

平成30年12月26日（水）



民間企業：67企業102名
大学等：4大学5名
行政・研究機関：18団体33名
事務局：20名
合 計：89団体 160名

第3回

平成31年3月4日（火）



民間企業：63企業93名
大学等：3大学3名
行政・研究機関：13団体27名
事務局：16名
合 計：79団体 139名

ご提供サービス

入会後は以下の6つのサービスをご提供します。

① 京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議への参加



産学公の多様なプレイヤーが集う京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議を開催し、スマートシティやIoT、ビッグデータに関する最新の情報をご提供します。各WGの取組のアップデートや新たな取組を共有します（年4回実施予定）

② 課題別ワーキンググループへの参加



多様化する社会課題や企業のニーズに応じて、ワーキンググループを発足します。ワーキンググループごとに勉強会等を実施し、具体的な成果に繋がります（ex.スマートアグリWG、スマートモビリティWG、スマート観光WG等）

③ ビジネスマッチング支援



会員企業様の新規事業紹介・交流の場をご提供します。10月開催の京都スマートシティエキスポにて、京都ビッグデータ活用プラットフォームオープンパートナプログラムを開催し、個別WGの成果発表を行い、ビジネスマッチングを支援します

④ デジタルサイネージ等を活用した実証実験支援



京都スマートシティ推進協議会が府域等に設置した10台のデジタルサイネージやスマートライト、LPWA等の公園スマート機器を活用した実証実験を支援します。その他、会員様が新たに実施したい実証実験の実現をお手伝いします

⑤ 補助金等獲得支援



会員企業様や各WGが実施するプロジェクトに対し、国や京都府等の補助金の獲得に向け、助言や担当部署の紹介、実証フィールドの提案等の申請サポートをします（※補助金獲得を約束するものではなく、あくまで審査は公平に行われます）

⑥ データ統合基盤の利用



京都スマートシティ推進協議会が所有するデータ統合基盤をご利用できます。会員企業間のデータ連携の支援やデータ利用環境（アカウント発行・管理）を提供します。データ分析するためのBIツールを別途有料でご提供します

会費について

会員種別	年会費(税抜)	対象者	便益
正会員（大企業）	20万円	中小企業の定義は、中小企業基本法第2条第1項の中小企業者の範囲に従う	1. 京都ビックデータ活用プラットフォーム会議への参加 2. 課題別ワーキンググループへの参加 3. ビジネスマッチング支援 4. 補助金等獲得支援 5. デジタルサイネージ等を活用した実証実験支援 6. データ統合基盤の利用 （※基本利用料無料。BIツール等をオプション利用する場合は別途有料） 7. サイネージ広告を会員割引 価格でご提供
正会員（中小企業）	10万円		
正会員（小規模企業者）	3万円		
内、ベンチャー企業	1万円		
特別会員	なし	行政機関・公共団体・非営利団体 等	

京都ビッグデータ活用プラットフォーム

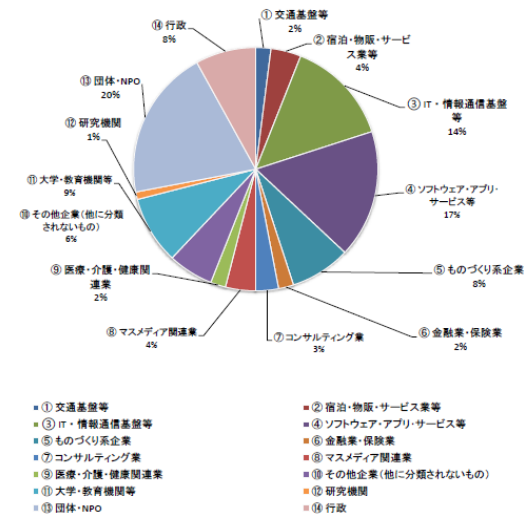
会員登録状況について (2020年1月9日時点)

区分	市内	団体・会社名	業種
大企業 29社		阪急電鉄株式会社	① 交通基盤等
		イオン株式会社	② 宿泊・物販・サービス業等
		アリババ株式会社	③ IT・情報通信基盤等
		伊藤忠テクノソリューションズ㈱	③ IT・情報通信基盤等
		株式会社NTTドコモ	③ IT・情報通信基盤等
		株式会社オプテージ	③ IT・情報通信基盤等
		シスコシステムズ合同会社	③ IT・情報通信基盤等
		株式会社スイッチマイル	③ IT・情報通信基盤等
		㈱セールスフォース・ドットコム	③ IT・情報通信基盤等
		西日本電信電話株式会社京都支店	③ IT・情報通信基盤等
	○	日本テレネット株式会社	③ IT・情報通信基盤等
		日本電気株式会社	③ IT・情報通信基盤等
		インクリメントビー株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
		ウイングアーク1st株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	○	株式会社システムディ	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
		㈱ゼンリンデータコム	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
		ダッソー・システムズ株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
		ヤマハ株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
		オムロン・システムソリューションズ ㈱	⑤ ものづくり系企業
		コニカミノルタ株式会社	⑤ ものづくり系企業
	○	株式会社島津製作所	⑤ ものづくり系企業
	○	日新電機株式会社	⑤ ものづくり系企業
	○	京都信用金庫	⑥ 金融業・保険業
	○	京都中央信用金庫	⑥ 金融業・保険業
		セントラルコンサルタント株式会社	⑦ コンサルティング業
		株式会社日本総合研究所	⑦ コンサルティング業
		PwCコンサルティング合同会社	⑦ コンサルティング業
		株式会社博報堂	⑧ マスメディア関連業
		大成建設株式会社	⑨ その他企業(他に分類されないもの)
中小企業 18社	○	エムケイ株式会社	① 交通基盤等
	○	㈱東映京都スタジオ	② 宿泊・物販・サービス業等
	○	㈱京都プラザホテルズ	② 宿泊・物販・サービス業等
	○	株式会社神書	② 宿泊・物販・サービス業等
	○	㈱DTS WEST	③ IT・情報通信基盤等
		株式会社デンソー	③ IT・情報通信基盤等
		株式会社ナイドレイ	③ IT・情報通信基盤等
	○	株式会社エクザム	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
		㈱CITY	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
		濱田プレスエッセイ株式会社	⑤ ものづくり系企業
	○	株式会社石田大成社	⑤ ものづくり系企業
	○	道文株式会社	⑤ ものづくり系企業
		株式会社アッシュ	⑥ マスメディア関連業
	○	㈱京都新聞社	⑥ マスメディア関連業
	○	株式会社SCORENクリエイティブコミュニケーションズ	⑥ マスメディア関連業
	○	医療法人知音会御池クリニック	⑨ 医療・介護・健康関連業
	○	株式会社日本サルベージサービス	⑩ その他企業(他に分類されないもの)
	○	株式会社ジイケイ京都	⑩ その他企業(他に分類されないもの)
小規模企業 8社	○	株式会社Local24	③ IT・情報通信基盤等
	○	amaneku株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	○	株式会社Stroly	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	○	Time Age株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	○	Digital Business Council株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	○	京都フューチャーズ合同会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	○	㈱構造機能科学研究所	⑤ ものづくり系企業
	○	品和クリエイション株式会社	⑩ その他企業(他に分類されないもの)

区分	市内	団体・会社名	業種
ベンチャー 6社	○	株式会社80 & Company	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	○	京なか株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	○	ジルファルコンテック/ロジージャパン株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
		株式会社NaeMe	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	○	アーツフォーリー合同会社	⑩ その他企業(他に分類されないもの)
		2gether	⑨ 医療・介護・健康関連業
特別 会 員 39 団 体	○	橋本加藤造園㈱けいはんな記念公園管理事務所	⑩ その他企業(他に分類されないもの)
		学校法人大阪経済大学	⑪ 大学・教育機関等
	○	学校法人永守学園 京都先端科学大学	⑪ 大学・教育機関等
	○	学校法人瓜生山学園 京都造形芸術大学	⑪ 大学・教育機関等
	○	国立大学法人京都大学 新山研究室	⑪ 大学・教育機関等
	○	IT・情報通信基盤等	⑪ 大学・教育機関等
	○	国立大学法人京都大学 大学院 医学研究科 医療経済分野	⑪ 大学・教育機関等
		国立大学法人滋賀大学	⑪ 大学・教育機関等
		国立学校法人奈良先端科学技術大学院大学	⑪ 大学・教育機関等
	○	福知山公立大学 メディア情報工学研究室	⑪ 大学・教育機関等
	○	福知山公立大学 地域経営学部 佐藤充研究室	⑪ 大学・教育機関等
	○	国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)	⑫ 研究機関
		一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会	⑬ 団体・NPO
	○	公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構	⑬ 団体・NPO
	○	特定非営利活動法人京都・地球みらい機構	⑬ 団体・NPO
	○	公益財団法人京都府観光連盟	⑬ 団体・NPO
	○	公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM)	⑬ 団体・NPO
	○	公益財団法人京都産業21	⑬ 団体・NPO
	○	一般社団法人京都知恵産業創造の森	⑬ 団体・NPO
	○	一般社団法人京都山域地域振興社(お茶の京都DMO)	⑬ 団体・NPO
	○	社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会	⑬ 団体・NPO
	○	京都府茶協同組合	⑬ 団体・NPO
	○	一般社団法人京都府北部地域連携都市振興社(海の京都DMO)	⑬ 団体・NPO
		SoundUD推進コンソーシアム	⑬ 団体・NPO
	○	NPO法人さらんネット	⑬ 団体・NPO
		一般社団法人CP協議会	⑬ 団体・NPO
		一般社団法人事故ゼロ・フォーラム	⑬ 団体・NPO
	○	一般社団法人changes	⑬ 団体・NPO
		一般社団法人中国経済連合会	⑬ 団体・NPO
		一般社団法人データクレイドル	⑬ 団体・NPO
	○	一般社団法人南丹市栗山観光まちづくり協会	⑬ 団体・NPO
	○	一般社団法人森の京都地域振興社(森の京都DMO)	⑬ 団体・NPO
	○	福知山市	⑬ 行政
	○	綾部市	⑬ 行政
	○	宮津市	⑬ 行政
	○	亀岡市	⑬ 行政
	○	京丹後市	⑬ 行政
	○	久御山町	⑬ 行政
	○	精華町	⑬ 行政
	○	独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)京都貿易情報センター	⑬ 行政

企業数: 61社
団体数: 39団体

業種内訳

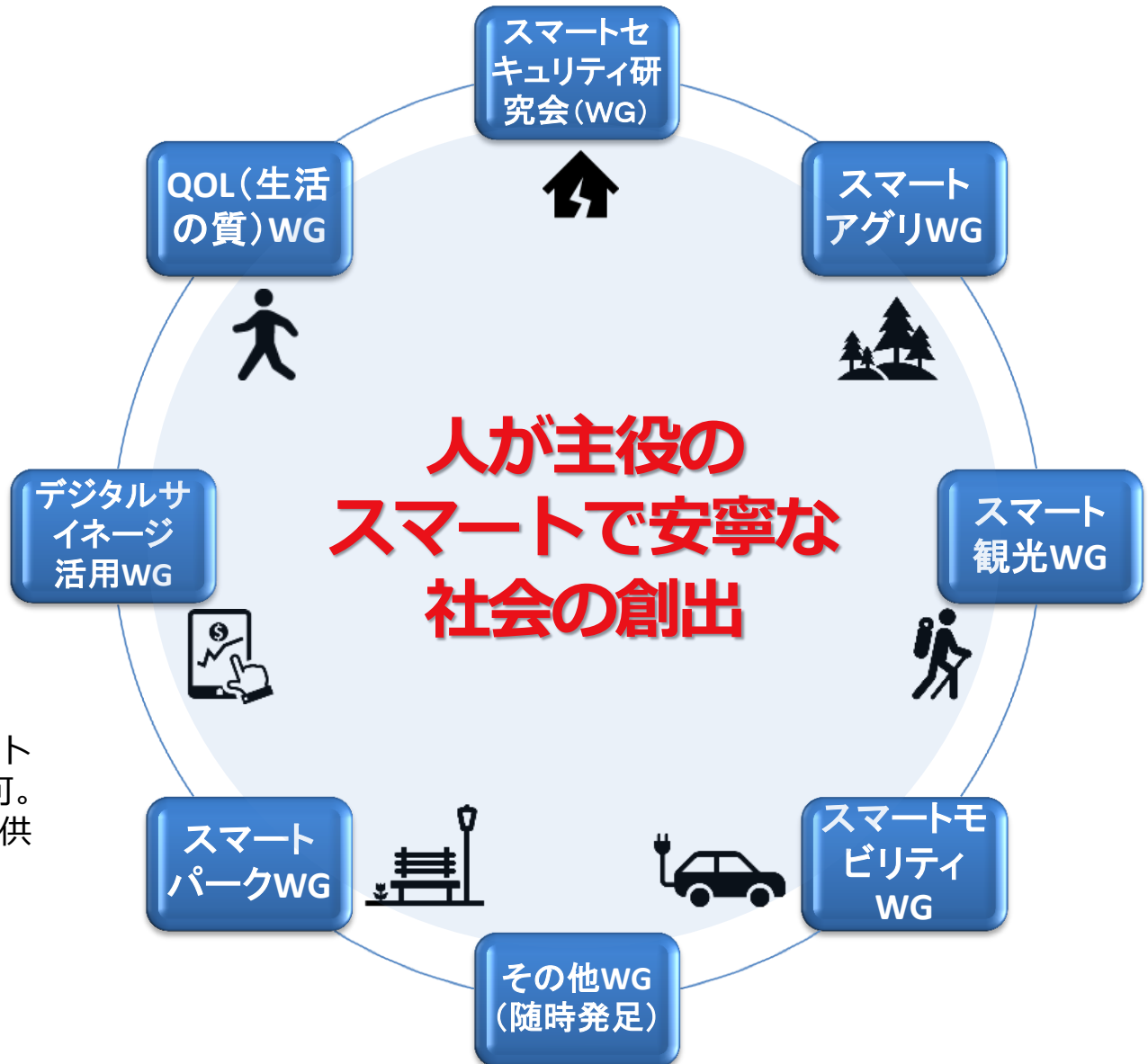


業種内訳	数
① 交通基盤等	2
② 宿泊・物販・サービス業等	4
③ IT・情報通信基盤等	14
④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	17
⑤ ものづくり系企業	8
⑥ 金融業・保険業	2
⑦ コンサルティング業	3
⑧ マスメディア関連業	4
⑨ 医療・介護・健康関連業	2
⑩ その他企業(他に分類されないもの)	6
⑪ 大学・教育機関等	9
⑫ 研究機関	1
⑬ 団体・NPO	20
⑭ 行政	8
合 計	100

登録企業・団体数 100

課題別ワーキンググループ設置

- 会員は興味関心のあるWGに参加可能（※複数可）
- WG内で様々なプロジェクトを立ち上げ可能
- 必要に応じて、実証実験や補助金獲得を支援
- 事業開発に向け、他企業や自治体、研究機関等とのアライアンス創出を支援
- 各WGの活動は、京都スマートシティエキスポ2019で報告可。ビジネスマッチング機会を提供



①デジタルサイネージ活用WG



<目指すところ>

府域等に設置するデジタルサイネージを活用し、観光客の利便性向上や観光周遊を促進する。また、地域住民に暮らしを豊かにするツールとして認識され、人が集い、交流するシンボリックな媒体として、新たな価値を検討する。

こんな課題を解決したい

- サイネージをもっと利用してほしい
- サイネージから得られるデータを使いたい
- サイネージで新しい技術やコンテンツを実証実験して、試してみたい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- D-standプロジェクト
→サイネージを有効活用し、人が集い、交流を生み出す空間をコーディネート
(D-演奏、D-パフォーマンス、D-オープンキャンパス、D-体操、D-L I N E等)
- サイネージ×ビーコン
→サイネージとビーコン技術を連動させ、多様なデータ収集・分析及びマーケティングに活用
- サイネージ×タクシー/ホテル予約
→サイネージに予約システムを組み込み、タクシー/ホテルの利用率アップ

⋮

②スマートアグリWG



<目指すところ>

スマート農林水産業の実現を目指し、生産現場への先駆的なA I、I C T技術の導入による生産性及び品質・作業性の向上を図り、農林水産業の成長産業化を検討する。

こんな課題を解決したい

- 過疎高齢化による生産現場（農林水産）の労働力不足を解消したい
- トリガイを安定的かつ効率的に養殖したい
- イノシシ等の鳥獣被害を減らしたい
- 宇治茶の生産性を向上したい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- 中山間地の水稻栽培における自動運転トラクターや栽培経営管理システムの導入
- 万願寺トウガラシの収穫量を向上するため、環境自動制御システムや収穫用サーモグラフィを導入し、ハウスを低コスト化
- 茶園環境データ、新芽の生育データ等を蓄積・解析することにより、茶園管理・製茶ノウハウを可視化し、茶生産技術を向上

⋮

③スマートモビリティWG

<目指すところ>

人口減少・高齢化が深刻化する中、地域住民に安心・安全・快適な交通環境を提供し、豊かで持続可能なモビリティ社会を実現するため、A I や I C T 等による新しいモビリティサービスを検討する。

こんな課題を解決したい

○けいはんな学研都市に多数立地する企業、研究施設間の移動をスムーズにしたい

○過疎地域や高齢者の交通問題を解決したい

○京都スタジアム（仮称）の竣工により、想定される交通渋滞や移動問題をなんとかしたい

⋮

例えば、こんな取組を検討

○高齢者等の社会参加を促し、次世代の実装となる自動運転等の実証を行い、スマートな暮らしを実現する、「学研都市型M a a S +」を推進

○京都丹後鉄道沿線地域での地方郊外型MaaS事業におけるQRシステム導入実証

○南山城村における村営バスの再編、自家用有償運送等の導入により交通網を整備する等、過疎地型M a a Sを実証

○京都スタジアムに訪れる2万人規模の来場者の心地よい移動サービスを検討

⋮

④スマート観光WG

<目指すところ>

観光産業・サービス産業の活性化と高度化を図り、スマート観光のモデルづくりを目指すため、ICTによる観光客の利便性の向上や周遊観光促進、新たな視点からの観光マーケティング・商品開発等を検討する。

こんな課題を解決したい

- 一極に集中する観光客を分散させ、府域に周遊させたい
- 観光客の行動を分析し、お勧めの観光ルートや商品を提案したい
- まだ京都府に来ていないターゲット層の心を動かすマーケティングをしたい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- AR技術を活用した府域のスタンプラリー観光
- 地域商店街と連携し、キャッシュレス普及促進
- インバウンドにターゲットを絞り、旅行滞在データ（基地局）やSNSデータの分析から訴求スポット・モデルコースを提示

⋮

⑤スマートパークWG

<目指すところ>

多様化する公園利用者のニーズに対応し、地域とつながる魅力ある公園の在り方を模索するとともに、公園管理者の負担を軽減するため、I C T等を活用したパークマネジメントや公共財の分散型管理を検討する。

こんな課題を解決したい

- 公園管理による職員の負担を軽減したい、管理業務を効率化したい
- 公園の資源（薪、木質ペレット）を有効活用し、エネルギー効率を上げたい
- 地域住民が公園を身近なものと感じ、人が交流する共通空間（パークマネジメント）を実現したい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- スマートライトによるL E D化及び調光管理によるエネルギー消費量の削減
- ネットワーク防犯カメラ（人流解析）により、公園の安心・安全を実現
- L P W Aを活用した園内案内ロボットの導入

⋮

⑥ Q O L（生活の質） W G

<目指すところ>

超高齢化社会や生き方の多様化が加速する中、人々にとって安寧で心豊かな暮らしの実現を目指し、医療・介護・福祉・働く環境等において、柔軟な視点で新しい事業やサービスの開発を検討する。

こんな課題を解決したい

- すべての高齢者にとって、自分らしく過ごせる心豊かなまちを作りたい
- 乳幼児期のアレルギーマーチを止めたい
- ストレスフルな職場環境を改善し、誰もがイキイキ働ける職場にしたい
- 聴覚障害のある方のコミュニケーションの課題を解消し、豊かな暮らしを実現したい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- 持続可能で心豊かな新しい地域包括ケアシステムの事業開発
- スキンケア化粧品を用いたアレルギーゼロプロジェクト
- 中小企業の職場環境を改善し、職場へのエンゲージメントを高める「キモチ×カラダ×データヘルスプロジェクト」
- デジタルサイネージを活用した遠隔手話通訳

⋮

QOL（地域包括ケア）勉強会

～オランダ社会福祉・医療コングロマリット法人FUNDISを招いて～

オランダ社会福祉・医療コングロマリット法人FUNDISをお招きし、地域包括ケア勉強会を実施。日本がこの10年で迎った高齢者増加＋介護人材不足の人口動態と同じ道をたどることが予測されているオランダで、日本がどのようにして高齢者福祉や地域包括ケアを推進してきたのか等について、府関係課や先進企業、大学等と情報交換した。

日 時：令和元年10月21日(月)

14時00分～16時30分

場 所：京都府庁1号館第1会議室

参加者：計41名（FUNDIS25名、日本16名）

内 容：

- 京都府山下副知事のご挨拶
- オランダFUNDISの取組紹介
- 京都府高齢者支援課の取組紹介
- 日本側からテクノロジー等の紹介
 - ・ 日本テレネット(株)
 - ・ 奈良先端科学技術大学院大学
 - ・ (社福) 京都聴覚言語障害者福祉協会
- 意見交換

fundis



NIPPON TELENET

社会福祉法人
京都聴覚言語障害者福祉協会

京都府

国立大学法人
奈良先端科学技術大学院大学
NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY



今後のスケジュールについて

<2019年7月8日>

第4回KBDP会議

(WG説明、今後の進め方共有)

<2019年10月3日or4日>

京都スマートシティエキスポ2019

京都スマートシティ協議会企画

サイネージ利活用アイデアソン

<2020年3月>

第5回KBDP会議

(成果報告等)

WG活動

WG
アンケート

WG活動実施(11月～3月)

- ・11/25 第1回スマートモビリティWG
- ・12/25 第1回スマート観光WG / 第1回デジタルサイネージ活用WG

適宜、他WGへの参加も可能
(随時エントリー)

(参考1) 京都府パブリックデジタルサイネージ

京都府の主要な観光玄関口や交通結節点にデジタルサイネージを10台設置。スマホやSNS等と連携した次世代のインタラクティブサイネージ。一人一人のニーズに合わせた観光情報の提供により、国内外の観光客の利便性向上と周遊観光を促進。

→サイネージを活用した様々な実証実験の実施やビジネス創出を支援します。

(※プラットフォーム会員企業は原則、無料で実証実験ができます)



<サイネージから取得できるデータ>

- タッチデータ (利用頻度、コンテンツの嗜好データ)
- 人流解析カメラによる属性データ (性別、年代)
- Wi-Fi利用データ (滞留データ)

実証イメージ

- ホテル・タクシー配車予約の検討
- キャッシュレスと組み合わせたクーポン発行の検討 等

基本コンテンツ	
動画放映	サイネージ上部の動画領域が自動ロール。動画のオーバーレイも可能。
時刻表	設置各所の交通各社(電車、バス等)の時刻表を掲載。
京都の体験	MBS様のWebサービス「京都知新」から京都の工芸体験等の予約ができる体験知新を掲載。サイネージ上から体験を選択しスマートフォンから予約が可能。
イベント情報	設置各所周辺のイベント情報をカレンダー形式で掲載。
周辺地図	Google Map を使用した周辺地図を表示。 行きたい場所へのルート表示機能もあり、スマートフォン にダウンロードが可能。
天気情報(災害情報)	京都危機管理Web の情報をリアルタイムで配信。京都府内の天気や注意・警報も表示。緊急時にはオーバーレイテロップで緊急情報も配信。
コンシェルジュ	タッチするとサイネージ上部の動画領域に日・英・中 3 言語対応可能なコンシェルジュコールセンターに繋がる。
サイネージ利用方法	サイネージ自体の利用方法のガイドを掲載。
SNS情報(Localive!)	Spectee 社が提供するSNS から画像を取得する Localive! サービスを表示。 嵐山、太秦、北野線沿線、かやぶきの里、伊根の舟屋、JR宇治駅、石清水八幡宮、阪急長岡天神駅、天橋立、伏見稲荷、福知山城の10箇所のエリア周辺のSNS情報を表示。
リアルタイム映像配信	サイネージ上部の動画領域をリアルタイム 映像に切替可能。

TIC TOKYO
(東京都)

阪急ツーリストセンター
大阪・梅田(大阪市)

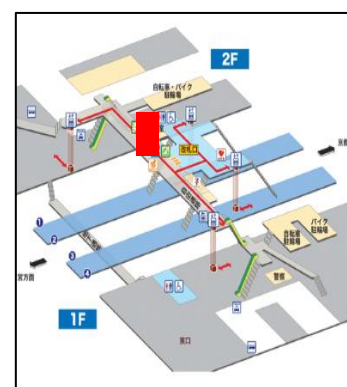
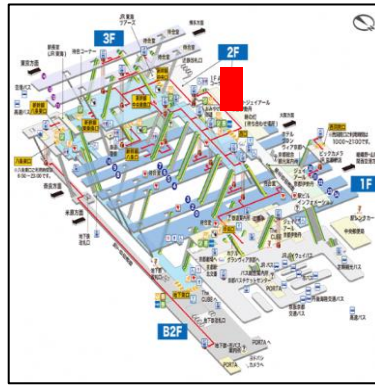
JR京都駅西口広場
(京都市)

トロッコ嵯峨駅
(京都市)

JR長岡京駅
(長岡京市)



1-29阪



サイネージ稼働時間
9:50~19:00

サイネージ稼働時間
7:50~17:05

サイネージ稼働時間
9:00~22:00

サイネージ稼働時間
7:00~23:00

サイネージ稼働時間
4:55~01:00

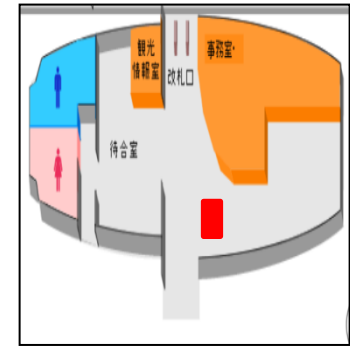
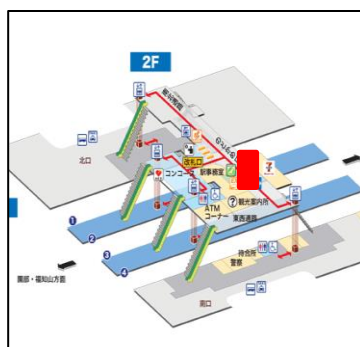
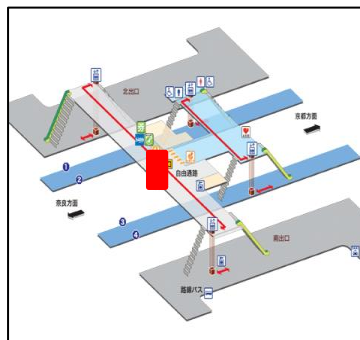
JR宇治駅
(宇治市)

けいはんな記念公園
(精華町)

JR亀岡駅観光案内所
(亀岡市)

京都丹後鉄道天橋立駅
(宮津市)

京都丹後鉄道網野駅
(京丹後市)



サイネージ稼働時間
5:00～00:35

サイネージ稼働時間
8:00～18:00

サイネージ稼働時間
4:30～23:50

サイネージ稼働時間
5:30～23:50

サイネージ稼働時間
5:30～23:50

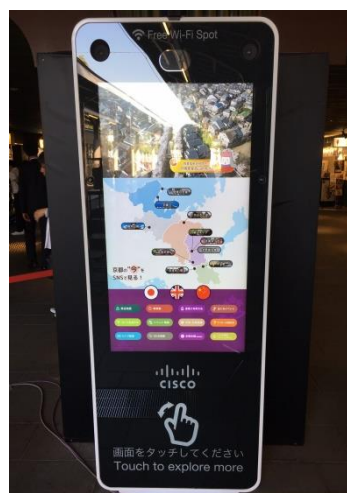
けいはんなプラザ
(精華町)



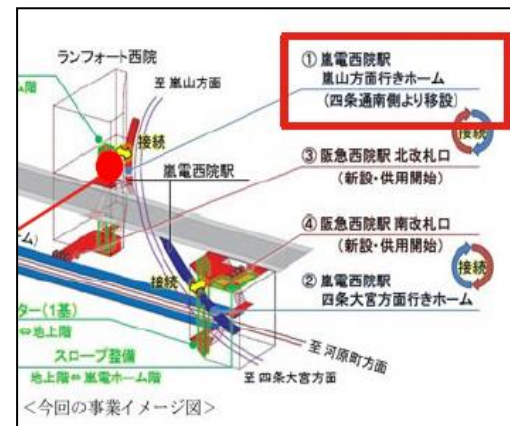
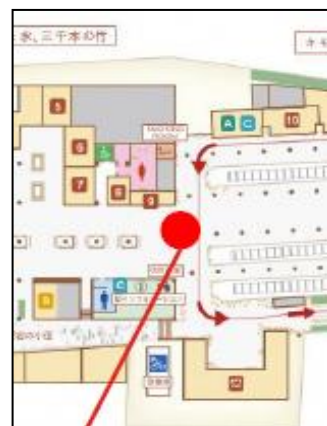
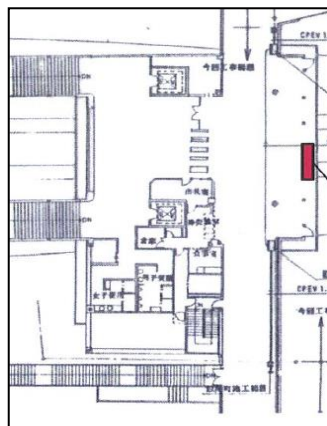
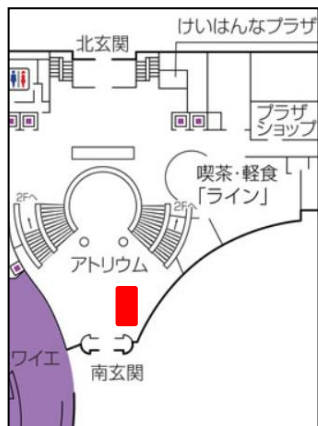
近鉄祝園駅
(精華町)



京福電鉄嵐山駅
(京都市)



京福電鉄西院駅
(京都市)



サイネージ稼働時間
7:00～19:00

サイネージ稼働時間
5:00～25:00

サイネージ稼働時間
5:00～24:28

サイネージ稼働時間
5:00～24:28

デジタルサイネージ活用事例①

～(株)毎日放送「歌ネタ王決定戦2019」とのコラボ企画～

(株)毎日放送の番組である「歌ネタ王決定戦2019」とコラボし、デジタルサイネージを活用した府域周遊プロモーション企画を実施

芸人MAP in 京都



JR宇治駅(宇治市)



JR電町駅(電町市)



京都府後援
天橋立駅(宮津市)



京都府後援
野駅(京丹後市)



京けいはんな記念公園
京けいはんなプラザ



京福電鉄 嵐山駅(京都市)



京福電鉄 西院駅(京都市)



トロッコ館 銀駅(京都市)

参加方法

STEP1. デジタルサイネージを見つけよう

STEP2. 決勝進出者の意気込み動画を見よう

画面上の歌ネタ王アイコンをタッチすると動画が再生されます。



STEP3. 画面と一緒に写真を撮ろう

動画を最後まで見たら、ファイナリストの写真を撮ってください。



STEP4. ハッシュタグをつけてSNSで投稿しよう

STEP5. 決勝戦当日、MBSへ集合！

デジタルサイネージ活用事例②

～住民参加型企画 せいか祭り×D-stand～

実施概要

京都府精華町主催する「せいか祭り」の開催に合わせて、府域に設置するデジタルサイネージ（D-stand）を活用し、町民に精華町の魅力や思い等を直接発信してもらうことで、精華町のPRを図るとともに、町民がつながり合い、心豊かに暮らせる精華町を目指す
（動画テーマ例：精華町への熱愛メッセージ）



約3万人集まるイベント

サイネージから地域
住民のメッセージ
動画が流れます！

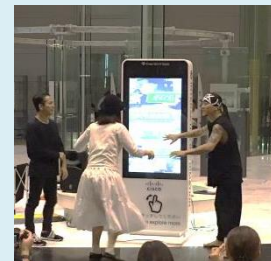


サイネージを活用したD-パフォーマンス ～京都スマートシティエキスポ2019連動プログラム～

京都スマートシティエキスポ2019の会場に設置された**デジタルサイネージ（D-stand）**を使って、**パフォーマンス集団beliefがブレイクダンスやマジック、ジャグリングを披露**。本企画は、サイネージの機能そのものや利便性に着目するではなく、新たな視点でサイネージを活用することで**人が集い、交流する心豊かな空間を創出**するため、モデル実証として実施。



日 時：令和元年10月3日(木)
第一部：12：00～12：45
第二部：16：40～17：00
場 所：けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）
参加者：第一部：60人、第二部：40人



サイネージ連動
パフォーマンス



大型サイネージでの
パフォーマンス

D-stand(サイネージ)×京都造形芸術大学アイデアソン ～京都スマートシティエキスポ2019連動プログラム～

京都造形芸術大学の学生をお招きし、（一社）京都スマートシティ推進協議会が昨年度に府域等に設置した**デジタルサイネージ（D-stand）の利活用をテーマにアイデアソンを実施**。8チームに分かれて、ワークショップ形式で実施し、新たなサイネージの利活用のイメージ動画等を作成。発表時には、サイネージに関連する業者等も参加。



日時：令和元年10月3日(木)10時半～16時半
場所：けいはんなオープンイノベーション
センター（KICK）

参加者：学生約40名、石鍋准教授、川向准教授
（京都造形芸術大学キャラクターデザイン学科）

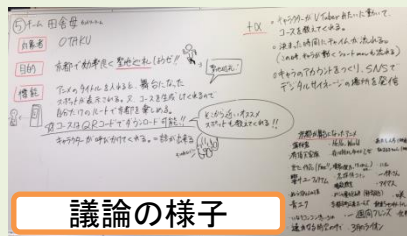


発表例

聖地巡礼

自分だけの巡礼コース
行ってみない？

スタート！



議論の様子

(参考2) 公園スマート化機器

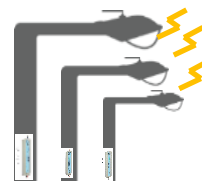
京都府精華町のけいはんな記念公園等にスマートライトや環境センサー、LPWAを設置。エネルギー消費や温度・湿度等の環境データを収集。また、ネットワーク防犯カメラを設置し、映像による人流データの解析からトラブル発生の早期検知等を検証し、スマート公園化を目指す。**→公園をフィールドに様々な実証実験の実施やビジネス創出を支援します。**

京都府精華町けいはんな記念公園



<スマートライト>

街灯に内蔵の機器で遠隔からコントロールし、消費電力データを収集。遠隔での点灯時間、照度変更、調光による最適かつ効率的な照明環境を実現



<環境センサ (LPWA付)>

温度、湿度、気圧、CO2、NO2、SO2、O3、粒子状物質の環境データをセンサーで取得



<公園スマート化機器から取得できるデータ>

- 街灯の消費電力データ
- 環境データ (温度、湿度、気圧、CO2、NO2、SO2、O3、粒子状物質)
- 人流データ

実証イメージ

- LPWAを活用したスマートゴミ箱の検討
- 人流解析カメラを活用したライトの適正照度の検討等

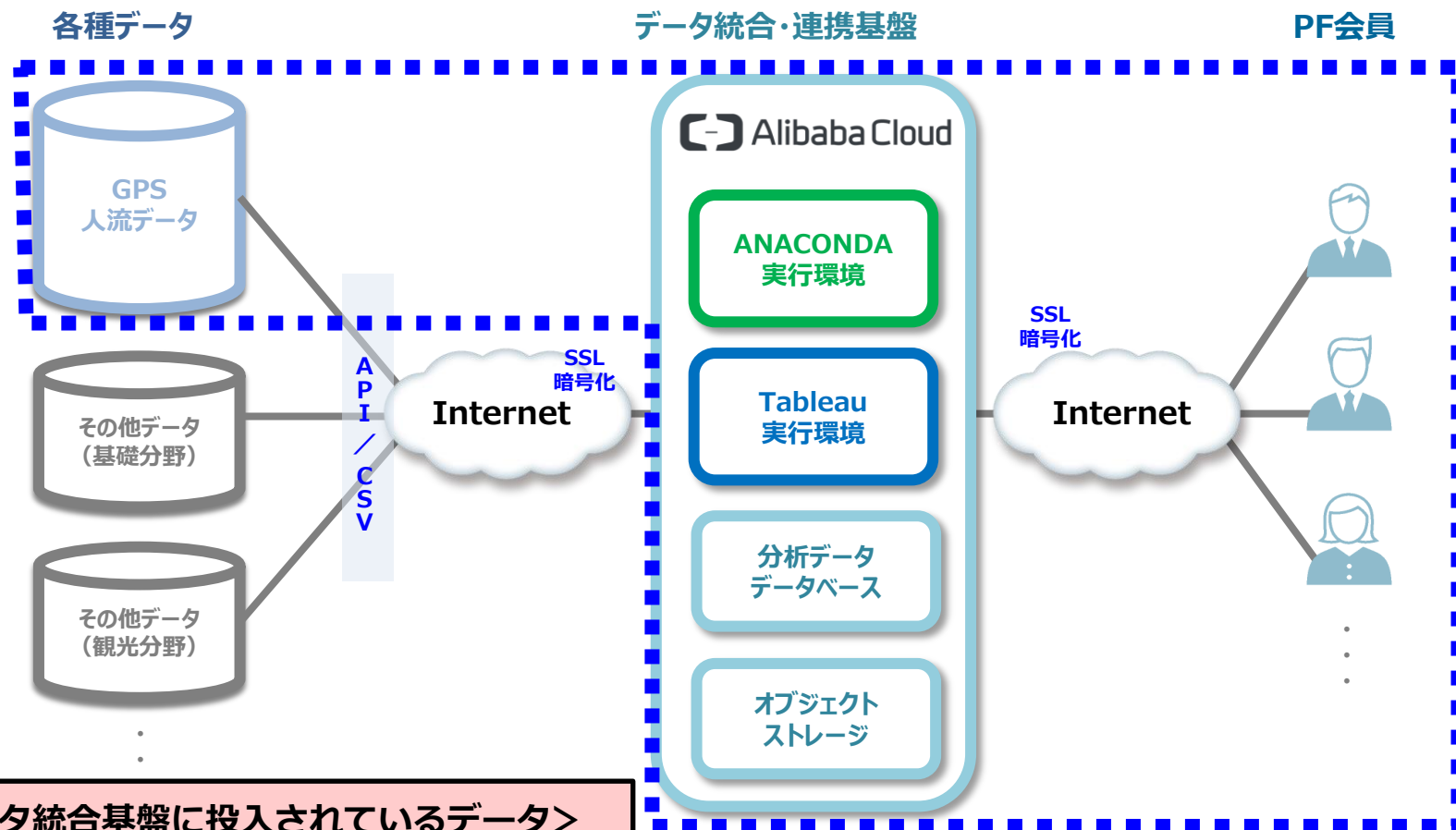
<ネットワーク防犯カメラ>

映像から転倒や接触等のトラブルを検知。カメラ映像から公園利用者数を把握。曜日、時間帯や天候状況別の人流データを測定



(参考3) データ統合連携基盤のイメージ

会員企業様にデータ利用環境をご提供します。データ利用環境は、クラウド上でPythonを利用できる環境（Anaconda）をご提供します。データ分析ツール（tableau）は別途有料でご利用できます。データアライアンスを組んだ企業同士のデータをプラットフォーム上で管理し、企業間のデータの相互活用をサポートします。



<データ統合基盤に投入されているデータ>
○京都府内の人流データ（GPS×アプリデータ）

(参考4) GPSとアプリ連動による人流データ

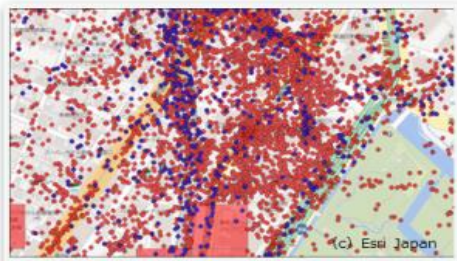
民間企業のアプリで取得される位置情報匿名化データにより、特定のポイント単位での人流データや行動データを収集・分析し、観光施策や天候、自然災害による影響、目標達成度の評価や新たな施策の検討に活用する。

<Agoop人流データ>

GPS位置情報を基にしたポイントデータと、GPS位置情報をメッシュ集計化したメッシュデータの2種類を購入。ポイントデータは、人の流れを1分単位の点の状態で細やかに把握することが可能、メッシュデータは1時間単位の人流分布(100mメッシュ〜)の把握が可能。

ポイント型 人流データ

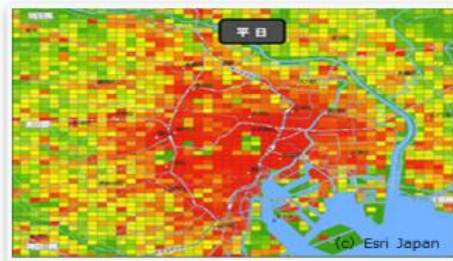
アプリユーザーの
GPS位置情報を基にしたデータ



- ☑ 人の流れを「点」の状態で細やかに把握
- ☑ 全世界・マルチキャリアの位置情報を収集可能

メッシュ型 人流データ

GPS位置情報を
メッシュ集計化したデータ



- ☑ 日本の総人口規模に換算
- ☑ 100m・500m・1kmメッシュを提供

（参考5）スマートけいはんなプロジェクト

○ **MaaSから始まるスマートシティ** 交通利便性の向上となるMaaSはスマートシティの土台。当地区での実証試験を次々と実装し、世界に先駆け未来の暮らしのモデル、新たなライフスタイル（スマートな暮らし）を提供。これを『**学研都市型MaaS+（プラス）**』と呼ぶ。

■ 対象区域のビジョン

- ・世界の未来像を提示する
- ・科学技術のイノベーションの創造拠点となる
- ・科学技術と生活・文化が融合した未来社会を 先導
- ・安全・安心で高質な都市環境を備える

■ 対象区域の課題

- ・研究機関、企業のオープンイノベーション環境が生じている中で、施設間の移動手段の拡充により、新たな産業・創発を促す
- ・高齢化する地域社会への対応
- ・SDG s を踏まえた持続可能な都市づくり
- ・安心・安全な都市の形成

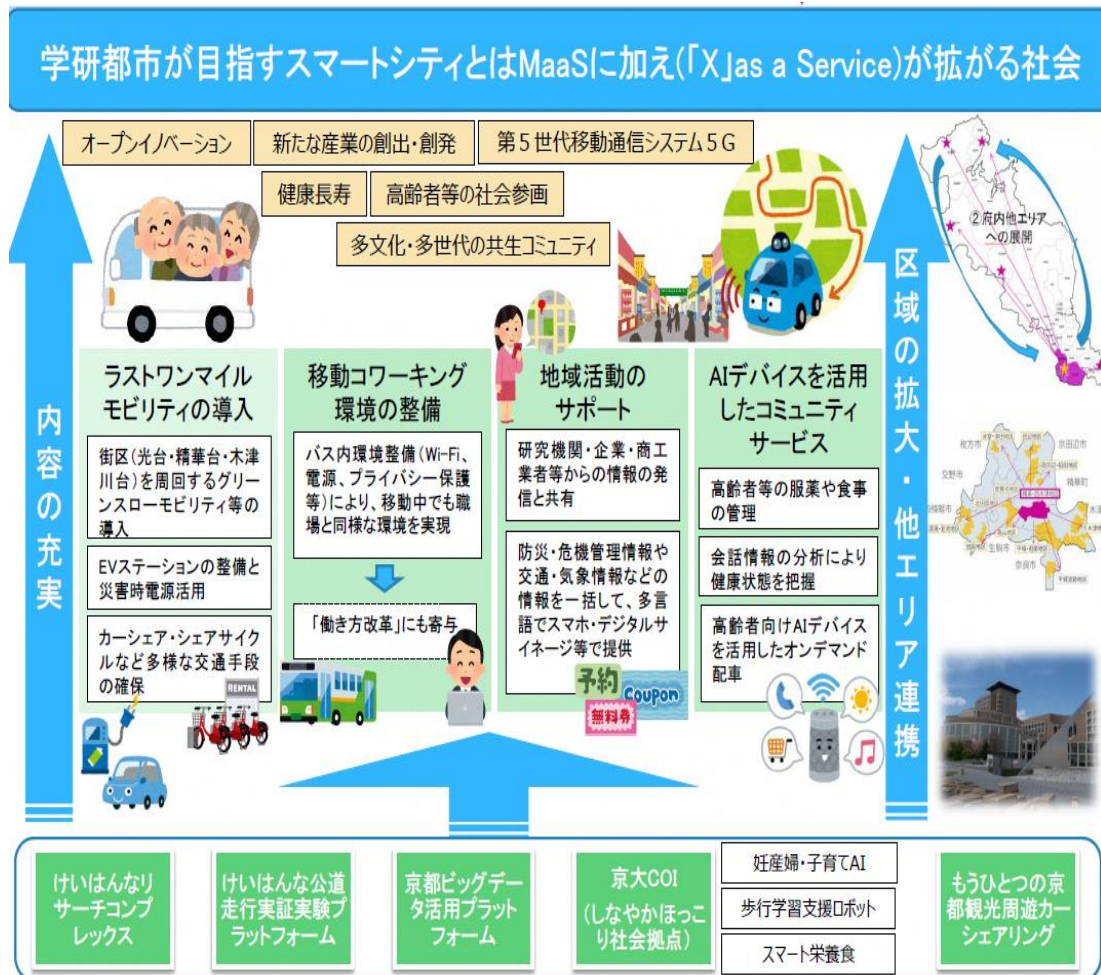
■ モデル事業の取組み内容

【統合プラットフォーム】学研都市型MaaS

- ①ラストワンマイルモビリティの導入
- ②移動コワーキング環境の整備
- ③地域活動のサポート
- ④AIデバイスを活用したコミュニティサービス

【MaaSの進化】学研都市型MaaS+（プラス）

高齢者等の社会参加を促し、次世代の実装となる
自動運転等の実証を行い、スマートな暮らしを築く



2018年(平成30年)11月10日 土曜日

京都新聞

[illegible][illegible]

昨年11月に立ち上がった同プラットフォームでは、地元企業や大学、研究機関などが知見や技術を持ち寄ってビッグデータやIoTの活用策を研究。地元市民も観光客もすこしずつスマート社会の実現を目指し、課題ごとに分科会（ワーキンググループ）を定めて定期的に会合を開いて具体的な活用事例が紹介された。二京都市ビッグデータ活用プラットフォーム（下の食糧・都市開発・首都圏経済センター）

分野では、けいはんな記念公園（精華町）で昨年度から設置しているスマートライトや環境センサによる管理の取り組みも紹介された。

京都聴覚言語障害者福祉協会は、「聞てまのこ」と協力をし、スマートライトを可視化する技術の実現化を提案。府県からは、効率的な警備官の現場派遣を目的とした「スマートセキュリティ」の分野で発表があり、各分野で参加者が意見交換した。

（佐藤 誠）

京都府と京都スマートシティ推進協議会は8日、快速に発展するスマート社会を目指す「京都ビッグデータ活用プラットフォーム」の会費を京都市下京区の京都経済センターで開いた。情報通信技術（ICT）を導入した「スマート農業」や、ビッグデータを収集するデジタルサイネージ（電子看板）の活用など、課題別の各研究会から具体的なサービス事例が披露された。

京都スマートシティ推進協議会・京都府

【京都】京都スマートシティ推進協議会と京都府は、LYNEなどの連携を視野に、府内を中心に14台あるシタルサイネージ（電子看板）の運用戦略を刷新する。2007年から設置しており、主に観光分野の情報を提供しているが、10月をめどに住民の生活に密着した情報も提供。公共サイネージとしての役割を一段と強化し、地域活性化につなげる。

サイエシの新たな可能性を秘めた
薄型に厚、L1N2 対話アプリケーション
と共同プロジェクトに（応用ソフト）「L1

NJ)をいい、例は、
サイエンス社で住民健
康の告がでると
いったサービスも定
している。
地元の企業やアパ
ーテ、商店街に協
力で新しい利用態
を提案する。サイエ
ンスタウンにあるジ
タルサイエンス
の情報収集が可能、画

れれば、広告収入増
もなる。コンツ
ツやサビシの同止
資金を十分回して
しいびネオモルを
実現する間だ。
米システムズ・タ
製のサイエンスを
してあり、カメラ
人理解、双方で
ータの取集、双
の情報収集が可能、画

面からスマートフォンで2次元コード「QRコード」を読み取れば、周辺情報を閲覧できる。京都府内のほか、東京や大阪の阪急観光セラーにも各1台設置されている。同協議会が京都府が

イ事業のラットフームとして18年に設立された。会費は申し込み枠も含めて約50社。観光や情報通信技術（ICT）系企業が、さまざまな業種が加わっている。

京都スマートシティ推進協と府

[illegible]

嵐山などで試験運用

INTERACTIVE INFORMATION

京都市内に設置されている旧式のデジタルサイネージ(下段:JR京都駅西口広場)